Nikon

AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED

使用説明書
Instruction Manual
Bedienungsanleitung
Manuel d'utilisation
Manual de instrucciones
Manuale di istruzioni
使用说明书
使用說明書

Jp En De Fr Es It Ck Ch

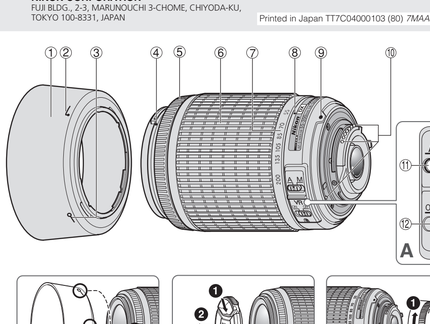
CE

使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターにて新しい使用説明書をお求めください(有料)。

No reproduction in any form of this manual, in whole or in part (except for brief quotation in critical articles or reviews), may be made without written authorization from NIKON CORPORATION.

NIKON CORPORATION
FUJI BLDG., 2-3, MARUNOUCHI 3-CHOME, CHIYODA-KU,
TOKYO 100-8331, JAPAN

Printed in Japan TT7C04000103 (80) 7MAA3480-■



① フード
Lens hood
Gegenlichtblende
Parasoleil

② フード取り付け指標
Lens hood attachment index
Montagemarkierung der Gegenlichtblende
Repère de fixation du parasoleil

③ フードセット指標
Lens hood setting index
Kontrollmarkierung der Gegenlichtblende
Repère de réglage du parasoleil

④ フード着脱指標
Lens hood mounting index
Montagemarkierung für Gegenlichtblende
Repère de montage du parasoleil

⑤ フォーカスリング
Focus ring
Entfernungseinstellring
Bague de mise au point

⑥ ズームリング
Zoom ring
Zoomring
Bague de zoom

⑦ 焦点距離目盛
Focal length scale
Brennweitenskala
Echelle de focale

⑧ 焦点距離目盛指標
Focal length scale index
Brennweitenskala Index
Repère de echelle de focale

⑨ レンズ着脱指標
Mounting index
Montage-Markierung
Repère de montage

⑩ CPU信号接点
CPU contacts
CPU-Kontakte
Contacts CPU

⑪ A-M切り換えスイッチ
A-M mode switch
Fokus-Modusschalter (A-M)
Commutateur de mode A-M

⑫ 手ブレ補正スイッチ
Vibration reduction ON/OFF switch
Schalter für Bildstabilisator (VR)
Commutateur ON/OFF (MARCHE/ARRÊT) de réduction de vibration

使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターにて新しい使用説明書をお求めください(有料)。
No reproduction in any form of this manual, in whole or in part (except for brief quotation in critical articles or reviews), may be made without written authorization from NIKON CORPORATION.

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物の損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

○記号は、禁止(してはいけないこと)の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す)が描かれています。

⚠ 警告

- **分解したり修理・改造をしないこと**
  感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
- **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**
  感電したり、破損部でケガをする原因となります。
  カメラの電池を抜いて、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
- **熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにカメラの電池を取り出すこと**
  そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。電池を抜いて、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
- **水につけたり水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**
  発火したり感電の原因となります。
- **引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと**
  プロパンガス・ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
- **レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと**
  失明や視力障害の原因となります。

⚠ 注 意

- **ぬれた手でさわらないこと**
  感電の原因になることがあります。
- **製品は幼児の手の届かないところに置くこと**
  ケガの原因になることがあります。
- **使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること**
  太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
- **三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと**
  転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

日本語

このたびはNIKKORレンズをお買い上げいただきありがとうございます。このレンズは、ニコンDXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ(D2シリーズ、D40など)専用です。ニコンDXフォーマットの撮影画角は、35mm判換算で焦点距離の約1.5倍の焦点距離に相当する画角になります。ご使用の前に、この「使用説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

主な特長

- 手ブレ補正機能(VR)を使用すると、使わないときと比べ約3段分*シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がり、幅広い領域で手持ち撮影が可能です。
  (*当社測定条件によります。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件によって異なります。)
- レンズ内超音波モーター(サイレント・ウエーブ・モーター)を採用し静かなAF(オートフォーカス)撮影が可能です。また、A-M切り換えスイッチ⑪によりAF(オートフォーカス)撮影およびMF(マニュアルフォーカス)撮影ができます。
- 被写体までの距離情報をカメラボディー側に伝達する機能を備え、より的確な露出制御を実現します。
- ニコン独自のED(特殊低分散)ガラスによる色収差の補正とともに、良好なボケ味を再現する円形絞りの採用により優れた光学性能、描写性能を発揮します。

カメラへの取り付け方(カメラの使用説明書もご覧ください)

1 カメラの電源スイッチをOFFにします。
2 レンズの裏ぶたを取り外します。(図D)
3 レンズとカメラのレンズ着脱指標⑨を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回します。このとき、レンズの着脱指標⑨が真上にきます。
4 レンズキャップを取り外します。(図C)

カメラからレンズの取り外し方(カメラの使用説明書もご覧ください)

レンズを取り外すには、カメラの電源スイッチをOFFにし、レンズ取り外しボタンを押しながら時計回りにレンズを回します。

バヨネットフードHB-37①の取り付け、取り外し(図B)

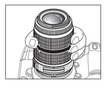
■取り付け方: レンズ先端のフード着脱指標④とフード取り付け指標(、2ヶ所のいずれか)②を合わせて、時計回りにカチッと音がするまでフード①を回転させ、確実に取り付けます。

- フード着脱指標④とフードセット指標(⟶)③が合っていることを確認してください。
- フード①が正しく取り付けられないと撮影画面にケラレを生じますのでご注意ください。
- フード①先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード①の根元(フード取り付け指標②部分)付近を持って回転させてください。
- 収納時はフード①を逆向きにしてレンズに取り付けることができます。

■取り外し方: フード①の根元(フード取り付け指標②部分)付近を持ち、反時計回りにフード①を回転させて取り外します。

ズーミングと被写界深度

撮影を行う場合は、ズームリング⑥を回転させ(焦点距離が変化します)、構図を決めてからピントを合わせを行ってください。ズームリング⑥をカメラ側から見て時計回りに回すと写る範囲(画角)は狭く被写体は大きくなり、反時計回りに回すと写る範囲(画角)が広く被写体は小さくなります。



プレビュー(絞り込み)機構を持つカメラでは、撮影前に被写界深度を確認できます。詳しくは、カメラの使用説明書をご覧ください。

ニコン内蔵方式は、通常のレンズと異なるため、至近距離になると焦点距離が若干短くなります。

ピント合わせの方法(図A)

■オートフォーカス撮影: カメラのフォーカスモードをAF-A、AF-SまたはAF-Cにセットし、レンズのA-M切り換えスイッチ⑪を[A]にセットしてください。シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

オートフォーカス撮影ではフォーカスリング⑤が回転しますので、フォーカスリング⑤に触れないようご注意してください。

■マニュアルフォーカス撮影: レンズのA-M切り換えスイッチ⑪を[M]にセットします。フォーカスリング⑤を回転させてピントを合わせ撮影します。このときカメラ側のフォーカスモードはAFでもMでもマニュアルフォーカス撮影ができます。

レンズのA-M切り換えスイッチ⑪	カメラのフォーカスモード	
	AF-A / AF-S / AF-C	M
A	オートフォーカス撮影	
M	マニュアルフォーカス撮影(フォーカスエイド可)	

カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。
※ クローズアップレンズを装着した場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせて撮影してください。

手ブレ補正機能(VR)

シャッタースピードで約3段分*の手ブレを補正します。パンニングにも対応し、流し撮りも行えます。
(*当社測定条件によります。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件によって異なります。)

■手ブレ補正機能の使い方

1 手ブレ補正スイッチ⑫を「ON」にセットします。
  ● スイッチ⑫は、指標が合うようにセットしてください。
2 シャッターボタンを半押しすると手ブレを補正します。このときファインダー内の画像のブレも補正するため、ピント合わせが容易で、フレーミングしやすくなります。
3 手ブレ補正スイッチ⑫を「OFF」にセットすると、手ブレを補正しません。

■手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- パンニング(流し撮り)でカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、流し撮りで横方向にパンニングすると、縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りが行えます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
- 手ブレ補正中にカメラの電源スイッチをOFFにしたり、レンズを取り外したりしないでください。(その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源スイッチを再度ONにすれば、音は消えます。)
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラ(D70シリーズ、D40など)で、内蔵フラッシュ充電中には、手ブレ補正は行いません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチ⑫を「OFF」にしてください。ただし、三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、スイッチを「ON」にすることをおすすめします。
- AF作動ボタンのあるカメラ(D2シリーズ、D200など)で、AF作動ボタンを押しても、手ブレ補正は作動しません。

絞り値の設定

絞り値を設定する場合は、カメラで設定してください。

開放F値の変化

このレンズはズーミングにより、開放F値が最大1段変化します。ただし、露出を決める際に、F値の変化量はカメラが自動的に補正しますので考慮する必要はありません。

カメラの内蔵フラッシュ使用時のケラレについて

カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズのフードや、焦点距離、撮影距離によってはレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に映り込む現象です。

- ケラレを防止するために、レンズフード①は取り外して使用してください。

デジタル一眼レフカメラ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
D200、D100、D80、D70シリーズ、D50、D40	すべての焦点距離でケラレは発生しません。

レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズのCPU信号接点⑩は汚さないようにご注意ください。
- レンズ面の清掃は、ホコリを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール(エタノール)または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻状に、拭きムラ、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。また、レンズフード①も役立ちます。
- レンズをソフトケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。なお、フード①を逆さ向きにしてレンズに取り付けた状態でも収納可能です。
- フード①を持ってカメラを持ち上げたりしないでください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやゴミを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや樟脳のあるところも避けてください。
- レンズを水に濡らすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

付属アクセサリー

- 52mmスプリング式レンズキャップ LC-52 ● 裏ぶた LF-1 ● バヨネットフード HB-37
- ソフトケース CL-0918

別売アクセサリー

- 52mmネジ込み式フィルター

使用できないアクセサリー

- テレコンバーター:全種類 ● オート接写リング:PKリング全種類 ● Kリング:全種類
- オートリング:BR-4 ● ベローズアタッチメント:全種類 ● アタッチメントリング SX-1

※ その他のアクセサリーでも、使用できない場合があります。アクセサリーの使用説明書をご確認ください。

仕 様

型 式:	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXニッコールズームレンズ(ニコンデジタル一眼レフカメラ[ニコンDXフォーマット]専用)
焦点距離:	55mm — 200mm
最大口径比:	1 : 4 — 5.6
レンズ構成:	11群15枚(EDレンズ1枚)
画 角:	28° 50′ — 8°
焦点距離目盛:	55、70、85、105、135、200mm
撮影距離情報:	カメラボディーへの撮影距離情報出力可能
ズーミング:	ズームリングによる回転式
ピント合わせ:	IF(ニコン内蔵)方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正:	ボイスコイルモーター(VCM)によるレンズシフト方式
最短撮影距離:	1.1m(ズーム全域)
絞り羽根枚数:	7枚(円形絞り)
絞り方式:	自動絞り
絞りの範囲:	焦点距離55mm時 f4—22、200mm時 f5.6—32
測光方式:	開放測光
アタッチメントサイズ:	52mm(P = 0.75mm)
大きさ:	約73mm(最大径)× 99.5mm(バヨネット基準面からレンズ先端まで)
質 量:	約335g

● 仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

English

Thank you for purchasing the AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED. DX Nikkor lenses are specially designed for use with Nikon digital SLR (Nikon DX format) cameras, such as the D2-Series and D40. When mounted on Nikon DX format cameras, the lens' picture angle is equivalent to approx. 1.5x focal length in 35mm format. Before using this lens, please read these instructions and the Notes on Safety Operations.

Notes on Safety Operations

⚠ CAUTION

Do not disassemble
Touching the internal parts of the camera or lens could result in injury. Repairs should be performed only by qualified technicians. Should the camera or lens break open as the result of a fall or other accident, take the product to a Nikon-authorized service representative for inspection after unplugging the product and/or removing the battery.

Turn off immediately in the event of malfunction
Should you notice smoke or an unusual smell coming from the camera or lens, remove the battery immediately, taking care to avoid burns. Continued operation could result in injury. After removing or disconnecting the power source, take the equipment to a Nikon-authorized service representative for inspection.

Do not use the camera or lens in the presence of flammable gas
If the electronic equipment is operated in the presence of flammable gas, it could result in an explosion or a fire.

Do not look at the sun through the lens or viewfinder
Viewing the sun or other strong light sources through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.

Keep out of reach of children
Particular care should be taken to prevent infants from putting the batteries or other small parts into their mouths.

Observe the following precautions when handling the camera and lens
- Keep the camera or lens unit dry. Failure to do so could result in a fire or electric shock.
- Do not handle or touch the unit with wet hands. Failure to do so could result in electric shock.
- When the lens will not be used for a long time, attach both front and rear lens caps and store the lens away from direct sunlight. Failure to do so could result in a fire, as the lens might focus sunlight onto an object.

Major features

- Pictures can be taken at shutter speeds approx. 3 stops* slower than is possible without using a VR lens, thus expanding the range of usable shutter speed options and making shooting without a tripod at various zoom settings much easier. (*Under Nikon measurement conditions. The effects of vibration reduction vary depending on individual and shooting conditions.)
- This lens employs a Silent Wave Motor to drive the focusing mechanism, making autofocusing smooth, silent and almost instantaneous. The A-M mode switch ⑪ is provided to easily select autofocus (A) or manual focus (M) operations.
- More accurate exposure control is possibe because subject distance information is transferred from the lens to the camera body.
- The use of one ED (extra-low dispersion) lens element ensures sharp pictures virtually free of color fringing. Also, by utilizing a 7-blade diaphragm that produces a nearly circular aperture, out-of-focus images in front of or behind the subject are rendered as pleasing blurs.

Mounting the lens (Refer to your camera instruction manual.)

1 Turn the camera off.
2 Remove the rear lens cap (Fig. D).
3 Keeping the mounting index ⑨ on the lens aligned with the mounting mark on the camera body, rotate the lens counterclockwise until it clicks into place. Make sure that the mounting index ⑨ is at the uppermost side.
4 Remove the front lens cap. (Fig. C)

Detaching the Lens (Refer to your camera instruction manual.)

Be sure to turn the camera off when removing the lens. Press and hold the lens-release button while turning the lens clockwise to detach.

Using bayonet hood HB-37 ① (Fig. B)

■Attaching the hood
Align the lens hood attachment index (⟶) ② on the hood (either one of the two indexes) with the lens hood mounting index ④ on the lens, and turn the hood ① clockwise until it click stops to secure.
- Make sure that the lens hood mounting index ④ aligns with the lens hood setting index (⟶) ③.
- If the lens hood ① is not correctly attached, vignetting can occur.
- To facilitate attachment or removal of the hood ①, hold it by its base (around the lens hood attachment index ②) rather than its outer edge.
- To store the lens hood ①, attach it in the reverse position.

■Detaching the hood
While holding the base of the hood (near the lens hood attachment index ②) rather than its outer edge, turn it counterclockwise to detach.

Focusing, zooming, and depth of field

Before focusing, turn the zoom ring ⑥ to change the focal length until the desired composition is framed in the viewfinder. Turn the zoom ring ⑥ clockwise as viewed from the camera side to take telephoto pictures and counterclockwise to take wide-angle pictures. If your camera has a depth of field preview (stop-down) button or lever, depth of field can be observed while looking through the camera viewfinder. See the instruction manual of your camera body for more details.
Due to the optical characteristics of this lens, as the lens is focused closer, the focal length slightly decreases.

Focusing (Fig. A)

■Autofocus mode: Set the camera's focus mode to AF-A, AF-S or AF-C and set the lens' A-M mode switch ⑪ to [A]. Autofocus is provided while lightly pressing the shutter release button.

Be careful not to touch the focus ring ⑤ when it is turning during autofocus operation.

■Manual focus mode: Set the lens' A-M mode switch ⑪ to [M]. Turn the focus ring ⑤ manually to focus. Shooting is possible when camera's focus mode is set to either AF or M.

Lens' A-M mode switch ⑪	Camera's focus mode	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Autofocus	——
M	Manual focus (Focus assist is available)	

For more details on camera's focus mode, refer to your camera instruction manual.
• Focus manually when close-up attachment lenses are attached.

Vibration reduction mode (VR)

Pictures can be taken at shutter speeds approx. 3 stops* slower than is possible without using a VR lens. Panning is also possible. (*Under Nikon measurement conditions. The effects of vibration reduction vary depending on individual and shooting conditions.)

■Setting the vibration reduction ON/OFF switch
1 Set the Vibration reduction ON/OFF switch ⑫ to [ON].
  Note: Be sure to set the switch ⑫ so that the indicator aligns with [ON] precisely.
2 Vibration is reduced when the shutter release button is lightly pressed. Because vibration is reduced in the viewfinder, auto/manual focusing and exact framing of the subject are made easier.
3 To cancel the vibration reduction mode, set the Vibration reduction ON/OFF switch ⑫ to [OFF].

■Notes on using vibration reduction
- Wait until the image in the viewfinder stops vibrating before fully depressing the shutter release button after you have lightly pressed the shutter release button.
- If you move the camera in a wide arc when panning, vibration in the direction of that movement is not affected. For example, if you pan the camera horizontally, only vibration in the vertical direction is reduced, making smooth pans much easier.
- Due to the characteristics of the vibration reduction mechanism, the image in the viewfinder may become blurred after releasing the shutter. This is not a malfunction.
- Do not turn the camera power OFF or remove the lens from the camera while the vibration reduction mode is in operation. (Otherwise, the lens may emit a chattering noise if the camera is shaken. This is not a malfunction. Turn the camera power ON again to correct this.)
- With cameras (such as D70-Series and D40 models) featuring a built-in flash, vibration reduction does not work while the built-in flash is recycling.
- When the lens is mounted on a tripod, set the vibration reduction ON/OFF switch ⑫ to [OFF]. However, set the switch to [ON] when using a tripod without securing the tripod head, or when using a monopod.
- With AF cameras featuring an AF start (AF-ON) button, such as D2-Series and D200 models, vibration reduction will not operate even if the AF-ON button is depressed.

Setting the aperture

Set the aperture on the camera body.

Variable maximum apertures

Zooming the lens from 55mm to 200mm decreases the maximum aperture by one f/stop. However, there is no need to adjust the aperture for correct exposures because the camera automatically compensates for this variation.

Taking flash pictures using cameras with a built-in flash

Vignetting is the darkening of the corners around the image that occurs when the light emitted from the flash is obstructed by the lens hood, or lens barrel depending on the focal length or shooting distance.
• To prevent vignetting, do not use the lens hood ①.

Digital SLR cameras	Usable focal length / Shooting distance
D200, D100, D80, D70-Series, D50, D40	No vignetting occurs at any focal length

Lens care

- Be careful not to soil or damage the CPU contacts ⑩.
- Clean the lens surfaces with a blower brush. To remove dirt and smudges, use a soft, clean cotton cloth or lens tissue moistened with ethanol (alcohol) or lens cleaner. Wipe in a circular motion from center to outer edge, taking care not to leave traces or touch other parts of the lens.
- Never use thinner or benzene to clean the lens, as this might damage it, result in a fire or cause health problems.
- To protect the front lens element, an NC filter is available. A lens hood ① also helps protect the front of the lens.
- When storing the lens in its flexible lens pouch, attach both the front and rear lens caps. The lens can also be stored when the lens hood ① is attached in the reverse position.
- Do not hold the lens hood while the lens is attached to a camera.
- When the lens will not be used for a long time, store it in a cool, dry place to prevent mold. Also store the lens away from direct sunlight or chemicals such as camphor or naphthalene.
- Do not get water on the lens or drop it in water as this will cause it to rust and malfunction.
- Reinforced plastic is used for certain parts of the lens. To avoid damage, never leave the lens in an excessively hot place.

Standard accessories

- 52mm snap-on front lens cap LC-52 • Rear lens cap LF-1
- Bayonet hood HB-37 • Flexible lens pouch CL-0918

Optional accessories

- 52mm screw-in filters

Incompatible accessories

- Teleconverters (all models)
- Auto Ring BR-4 and all models of Auto Extension Ring PK, K Ring and Bellows focusing attachment
- Attachment Ring SX-1

Other accessories might not be suitable for use with this lens. For details, check your accessories instruction manual.

Specifications

Type of lens:	G-type AF-S DX Zoom-Nikkor lens with built-in CPU and Nikon bayonet mount (Specially designed for use with Nikon digital SLR – Nikon DX format – cameras)
Focal length:	55mm–200mm
Maximum aperture:	f/4-5.6
Lens construction:	15 elements in 11 groups (1 ED lens element)
Picture angle:	28°50′–8°
Focal length scale:	55, 70, 85, 105, 135, 200mm
Distance information:	Output to camera body
Zoom control:	Manually via separate zoom ring
Focusing:	Nikon Internal Focusing (IF) system (utilizing an internal Silent Wave Motor); manually via separate focus ring
Vibration reduction:	Lens-shift method using voice coil motors (VCMs)
Closest focus distance:	1.1m (3.6 ft.) at all zoom settings
No. of diaphragm blades:	7 pcs. (rounded)
Diaphragm:	Fully automatic
Aperture range:	f/4 to f/22 (at 55mm), f/5.6 to f/32 (at 200mm)
Exposure measurement:	Via full-aperture method
Attachment size:	52mm (P = 0.75mm)
Dimensions:	Approx. 73mm dia. x 99.5mm extension from the camera's lens-mount flange
Weight:	Approx. 335g (11.8 oz)

Specifications and designs are subject to change without any notice or obligation on the part of the manufacturer.

Deutsch

Wir danken Ihnen für das Vertrauen, das Sie Nikon mit dem Kauf des AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED entgegenbringen. DX Nikkor-Objektive sind speziell für den Gebrauch mit Nikon Digital-SLR-Kameras (Nikon DX-Format) ausgelegt, wie etwa der Modelle der D2-Serie sowie Modell D40. Bei Anbringen an Kameras im Nikon DX-Format entspricht der Bildwinkel des Objektivs ca. dem 1,5-Fachen der Brennweite im 35-mm-Format. Machen Sie sich bitte vor dem Einsatz dieses Objektivs mit dem Inhalt dieser Bedienungsanleitung und den Hinweisen für sicheren Betrieb vertraut.

Hinweise für sicheren Betrieb

⚠ ACHTUNG

Keinesfalls zerlegen.
Beim Berühren der Innenteile von Kamera oder Objektiv droht Verletzungsgefahr. Überlassen Sie Reparaturen unbedingt ausschließlich qualifizierten Technikern. Kommt es durch einen heftigen Stoß (z. B. Fall auf den Boden) zu einem Bruch von Kamera oder Objektiv, so trennen Sie zunächst das Produkt vom Stromnetz bzw. entnehmen die Batterie(n) und geben es dann an eine autorisierte Nikon-Servicestelle zur Überprüfung ab.

Bei einer Störung sofort die Stromversorgung ausschalten.
Bei Entwicklung von Rauch oder ungewöhnlichem Geruch durch Kamera oder Objektiv entnehmen Sie sofort die Batterie(n); dabei vorsichtig vorgehen, denn es besteht Verbrennungsgefahr. Bei einem Weiterbetrieb unter diesen Umständen droht Verletzungsgefahr. Nach dem Abtrennen von der Stromversorgung geben Sie das Gerät an eine autorisierte Nikon-Servicestelle zur Überprüfung ab.

Kamera oder Objektiv keinesfalls bei Vorhandensein von brennbarem Gas einsetzen.
Wird elektronisches Gerät bei brennbarem Gas betrieben, so droht u. U. Explosions- oder Brandgefahr.

Keinesfalls durch Objektiv oder Sucher in die Sonne blicken.
Beim Betrachten der Sonne oder anderer starker Lichtquellen durch Objektiv oder Sucher droht eine permanente Schädigung des Sehvermögens.

Dem Zugriff von Kindern entziehen.
Es ist unbedingt dafür zu sorgen, dass Kleinkinder keine Batterien oder andere kleine Teile in den Mund nehmen können.

Beim Umgang mit Kamera und Objektiv unbedingt die folgenden Vorsichtmaßnahmen beachten:
- Halten Sie Kamera oder Objektiv stets trocken. Andernfalls droht Brand- oder Stromschlaggefahr.
- Handhaben oder berühren Sie die Komponente keinesfalls mit nassen Händen. Andernfalls droht Stromschlaggefahr.
- Vor einem längeren Nichtgebrauch des Objektivs bringen Sie den vorderen und hinteren Deckel an und bewahren das Objektiv geschützt vor direkter Sonneneinstrahlung auf. Andernfalls droht Brandgefahr wegen möglicher Fokussierung von Sonnenlicht durch die Linse auf Gegenstände.

Hauptmerkmale

- Aufnahmen bei Verschlusszeiten ermöglicht der Bildstabilisator (VR) verwacklungsfreie Aufnahmen mit um bis zu drei Lichtwertstufen* längeren Verschlusszeiten als beim Fotografieren ohne VR-Technik, auf diese Weise werden der Bereich der verfügbaren Verschlusszeitoptionen erweitert und Teleaufnahmen ohne Stativ wesentlich vereinfacht. (*unter Nikon-Testbedingungen; der Ausmaß des Effekts des Bildstabilisators ist abhängig vom Fotografen und den Aufnahmebedingungen.)
- Der Silent Wave Motor im Objektiv steuert den Fokussiermechanismus und sorgt so für stufenloses, leisen und praktisch verzögerungsfreien Autofokus-Betrieb. Der Fokus-Modusschalter (A-M) ⑪ dient zur einfachen Wahl von Autofokus (A) oder manueller Scharfeinstellung (M).
- Eine präzisere Belichtungssteuerung ist möglich, denn die Objektdistanzdaten werden vom Objektiv zum Kameragehäuse übertragen.
- Ein ED-Linsenelement (Extra-low Dispersion) garantiert scharfe Bilder, die praktisch frei von Farbsaumbildung sind. Außerdem machen sich dank einer 7rsblende mit 7 Lamellen und fast kreisrunder Öffnung Unschärfen vor oder hinter dem Aufnahmemotiv nicht störend bemerkbar.

Anbringen des Objektivs (Siehe hierzu die Bedienungsanleitung der Kamera.)

1 Schalten Sie die Stromversorgung der Kamera aus.
2 Nehmen Sie den hinteren Objektivdeckel ab (Abb. D).
3 Fluchten Sie die Montage-Markierungen ⑨ an Objektiv und Kameragehäuse und drehen Sie das Objektiv entgegen dem Uhrzeigersinn, bis es hörbar einrastet. Sorgen Sie unbedingt dafür, dass sich die Montage-Markierung ⑨ ganz oben befindet.
4 Nehmen Sie den vorderen Objektivdeckel ab. (Abb. C)

Abnehmen des Objektivs (Siehe hierzu die Bedienungsanleitung der Kamera.)

Beim Abnehmen des Objektivs muss die Kamera unbedingt ausgeschaltet sein. Halten Sie die Objektiv-Freigabetaste gedrückt und drehen Sie das Objektiv im Uhrzeigersinn.

Verwendung der Gegenlichtblende HB-37 ① mit Bajonettfassung (Abb. B)

■Anbringen der Gegenlichtblende
Richten Sie die Montagemarkierungen an Objektiv ④ und Gegenlichtblende (⟶) ② aneinander aus und drehen Sie die Gegenlichtblende ① im Uhrzeigersinn, bis sie hörbar einrastet.
- Stellen Sie sicher, dass die Kontrollmarkierung (⟶) ③ mit der Montagemarkierung am Objektiv ④ fluchtet.
- Wenn die Gegenlichtblende ① falsch angebracht ist, kann es zu Vignettierung (Abschattungen an den Bildrändern) kommen.
- Halten Sie die Gegenlichtblende ① zum Anbringen oder Abnehmen an ihrer Basis (nahe der Montagemarkierung ②) fest, nicht am vorderen Rand.
- Die Gegenlichtblende ① kann zum Verstauen in umgekehrter Position an das Objektiv angesetzt werden.

■Abnehmen der Gegenlichtblende
Halten Sie die Gegenlichtblende ① an der Basis (nahe der Montagemarkierung ②) und drehen Sie sie gegen den Uhrzeigersinn.

Scharfeinstellung, Zoomen und Schärfentiefe

Vor der Scharfeinstellung verstellen Sie mit dem Zoomring ⑥ die Brennweite so weit, bis die gewünschte Bildkomposition im Sucher dargestellt ist. Drehen Sie den Zoomring ⑥ im Uhrzeigersinn (gesehen von der Kameraseite aus), um Teleaufnahmen zu machen, und entgegen dem Uhrzeigersinn für Weitwinkelaufnahmen. Hat Ihre Kamera eine Taste oder einen Hebel für Schärfentiefe-Voransicht (Abblenden), so lässt sich die Schärfentiefe beim Blicken durch den Kamerasucher beurteilen. Näheres hierzu finden Sie in der Bedienungsanleitung der Kamera.
Aufgrund der optischen Eigenschaften dieses Objektivs ergibt sich bei Nahfokussierung eine leichte Verringerung der Brennweite.

Scharfeinstellung (Abb. A)

■Autofokus-Modus: Stellen Sie die Kamera auf AF-A, AF-S oder AF-C ein und den Fokus-Modusschalter (A-M) ⑪ am Objektiv auf [A]. Durch Antippen des Auslösers wird der Autofokus aktiviert.

Beim Drehen während des Autofokus-Betriebs darf der Einstellring ⑤ nicht berührt werden.

■Manuelle Scharfeinstellung: Stellen Sie den Fokus-Modusschalter A-M ⑪ auf [M]. Drehen Sie den Einstellring ⑤ mit der Hand zum Fokussieren. Aufnahmen sind möglich, wenn der Autofokus-Modus der Kamera auf AF oder M eingestellt ist.

Fokus-Modusschalter (A-M) ⑪ am Objektiv	Kamera-Fokusmodus	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Autofokus	——
M	Manuelle Scharfeinstellung (Fokussierhilfe verfügbar.)	

Einzelheiten über den Kamera-Fokusmodus finden Sie in der Bedienungsanleitung der Kamera.
• Manuelle Scharfeinstellung, wenn diese vorsatzlinsen angebracht sind.

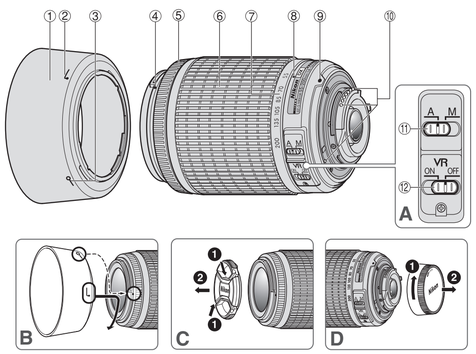
Bildstabilisator (VR)

Aufnahmen mit bis ca. 3 Lichtwertstufen* längeren Verschlusszeiten sind ohne Verwendung eines VR-Objektivs möglich. Schwenkaufnahmen sind ebenfalls möglich. (*unter Nikon-Testbedingungen; der Ausmaß des Effekts des Bildstabilisators ist abhängig vom Fotografen und den Aufnahmebedingungen.)

■Der Schalter für den Bildstabilisator (VR)
1 Stellen Sie den Schalter für den Bildstabilisator ⑫ auf [ON].
  Hinweis: Dabei muss der Schalter ⑫ so eingestellt sein, dass die Markierung genau mit der Aufschrift [ON] fluchtet.
2 Wenn der Auslöser bis zum ersten Druckpunkt gedrückt wird, werden Verwacklungsbewegungen ausgeglichen. Da dies auch für das Suchenbild gilt, wird die automatische oder manuelle Fokussierung und die Ausrichtung auf das Motiv erleichtert.
3 Stellen Sie den Schalter ⑫ auf [OFF], um den Bildstabilisator zu deaktivieren.

■Hinweise zur Verwendung des Bildstabilisators
- Warten Sie, bis sich das Bild im Sucher stabilisiert hat, bevor Sie den Auslöser nach kurzem Antippen ganz herunterdrücken.
- Wenn Sie die Kamera in einem weiten Bogen bewegen (z. B. bei einem Kameraschwenk), sind Vibrationen in die Richtung dieser Bewegung nicht betroffen. Wenn Sie die Kamera z. B. horizontal schwenken, werden nur vertikale Vibrationen reduziert, so dass gleichmäßige Kameraschwenks möglich werden.
- Aufgrund der Eigenschaften des Bildstabilisators kann das Sucherbild nach dem Auslösen des Verschlusses leicht unscharf erscheinen. Dies ist kein Anzeichen für eine Gerätestörung.
- Schalten Sie die Kamera nicht aus und nehmen Sie das Objektiv nicht ab, solange der VR-Modus eingeschaltet ist. (Andernfalls erzeugt das Objektiv u. U. ein klapperndes Geräusch, wenn es bewegt wird. Dies ist keine Fehlfunktion. Schalten Sie die Kamera wieder ein und die VR-Funktion aus.)
- Bei Kameras wie etwa die Modelle der D70-Serie und D40 steht die VR-Funktion nicht zur Verfügung, während das integrierte Blitzgerät aufgeladen wird.
- Stellen Sie den Schalter ⑫ für den Bildstabilisator auf [OF

Español



① Visera del objetivo
Parasol
鏡头遮光罩
鏡頭遮光罩

② Indice de acoplamiento de la visera del objetivo
Indice di collegamento del paraluce
鏡头遮光罩接头标志
鏡頭遮光罩接頭標誌

③ Indice de ajuste de la visera del objetivo
Indice di regolazione del paraluce
鏡头遮光罩设定标志
鏡頭遮光罩設定標誌

④ Indice de montaje de la visera del objetivo
Indice di montaggio del paraluce
鏡头遮光罩安装标志
鏡頭遮光罩安裝標誌

⑤ Anillo de enfoque
Anello di messa a fuoco
对焦环
對焦環

⑥ Anillo de zoom
Anello dello zoom
变焦环
變焦環

⑦ Escala de distancias focales
Scala della lunghezza focale
焦距刻度
焦距刻度

⑧ Indicador de escala de distancias focales
Indice della scalla della lunghezza focale
焦距刻度标志
焦距刻度標誌

⑨ Indice de montaje
Tacca di montaggio
安装标志
安裝標誌

⑩ Contactos CPU
Contatti CPU
CPU触点
CPU觸點

⑪ Interruptor de modo de enfoque A-M
Interruttore modalità A-M
A-M模式开关
A-M模式開關

⑫ Interruptor de ON/OFF de reducción de vibración
Interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni
减振ON／OFF开关
減振ON／OFF開關

Muchas gracias por su compra del AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED. Los objetivos DX Nikkor están diseñados especialmente para ser utilizados con las cámaras SLR digitales Nikon (formato Nikon DX), como las de la serie D2 y la D40.
Cuando se instala en cámaras con formato Nikon DX, el ángulo de imagen del objetivo es equivalente a aproximadamente 1.5x de la distancia focal en formato de 35mm. Antes de utilizar este objetivo, lea estas instrucciones y las notas sobre uso seguro.

Notas sobre un uso seguro
⚠ PRECAUCIÓN

No desarme el equipo
El contacto con las piezas internas de la cámara o del objetivo puede provocar lesiones. Las reparaciones solamente deben ser ejecutadas por técnicos cualificados. Si a causa de un golpe u otro tipo de accidente la cámara o el objetivo se rompen y quedan abiertos, desenfoque el producto y/o retire la batería, y a continuación lleve el producto a un centro de servicio técnico autorizado Nikon para su revisión.

Apague inmediatamente el equipo en caso de funcionamiento defectuoso
Si observa que sale humo o que la cámara o el objetivo desprenden un olor extraño, retire la batería inmediatamente, con cuidado de no quemarse. Si sigue utilizando el equipo corre el riesgo de sufrir lesiones. Después que haya retirado o desconectado la fuente de alimentación, lleve el equipo a un centro de servicio técnico autorizado Nikon para su revisión.

No utilice la cámara ni el objetivo en presencia de gas inflamable
No utilice equipos electrónicos en presencia de gas inflamable, ya que podría producirse una explosión o un incendio.

No mire hacia el sol a través del objetivo ni del visor
Mirar hacia el sol u otra fuente de luz potente a través del objetivo o del visor podría producirle daños permanentes en la vista.

Mantener fuera del alcance de los niños
Se debe tener especial cuidado en evitar que los niños se metan en la boca pilas u otras piezas pequeñas.

Adopte las siguientes precauciones al manipular la cámara y el objetivo
• Mantenga la cámara y el objetivo secos. De no hacer esto podría producirse un incendio o una descarga eléctrica.
• No manipule ni toque la unidad con las manos húmedas. De hacer eso podría recibir una descarga eléctrica.
• Cuando el objetivo no vaya a utilizarse por un período de tiempo prolongado, colóquele las tapas frontal y trasera al objetivo y guárdelo alejado de la luz solar directa. De no hacer esto podría producirse un incendio, ya que el objetivo pudiera enfocar la luz solar directa sobre un objeto.

Principales funciones
• Se puede realizar fotografías con velocidades de obturación de aproximadamente 3 pasos* más lento de lo que podría hacerlo sin usar un objetivo VR ampliando el intervalo de opciones de velocidad de obturación que se pueden utilizar cuando sea más fácil trabajar con teleobjetivo sin trípode. (*Bajo condiciones de medición de Nikon. Los efectos de la reducción de la vibración varían dependiendo de las condiciones individuales y de fotografiado.)
• Este objetivo utiliza un motor Silent Wave para accionar el mecanismo de enfoque, en consecuencia, el enfoque automático es suave, silencioso y prácticamente instantáneo. Se incluye el interruptor de modo A-M ⑪ para seleccionar fácilmente las operaciones de enfoque automático (A) o enfoque manual (M).
• Es posible un control de exposición más preciso porque la información de distancia del sujeto se transfiere del objetivo a la cámara.
• El uso de un lente ED (dispersión extra-baja) garantiza imágenes nítidas, prácticamente sin mezcla de colores. Además, con el uso de un diafragma de 7 hojas que produce una abertura casi circular, las imágenes fuera de enfoque delante o detrás del sujeto aparecen con un agradable efecto de esfumado.

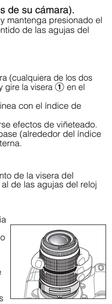
Instalación del objetivo (Consulte el manual de instrucciones de su cámara).
1 Apague la cámara.
2 Retire la tapa trasera del objetivo (Fig. D).
3 Manteniendo el índice de montaje ⑨ del objetivo alineado con la marca de montaje en la cámara, gire el objetivo en sentido contrario al de las agujas del reloj hasta que quede fijo con un chasquido. Asegúrese de que el índice de montaje ⑨ está en la parte más alta.
4 Retire la tapa frontal del objetivo. (Fig. C)

Desmontaje del objetivo (Consulte el manual de instrucciones de su cámara).
Asegúrese de apagar la cámara antes de desmontar el objetivo. Presione y mantenga presionado el botón de liberación del objetivo a la vez que hace girar el objetivo en el sentido de las agujas del reloj para desacoplarlo.

Utilización de la visera de bayoneta HB-37 ① (Fig. B)
■Instalación de la visera
Alinee el índice de acoplamiento de la visera del objetivo (▲) ② de la visera (cualquiera de los dos índices) con el índice de montaje de la visera del objetivo ④ situado en éste, y gire la visera ① en el sentido de las agujas del reloj hasta que quede fijada con un chasquido.
• Asegúrese de que el índice de montaje de la visera del objetivo ④ se alinea con el índice de ajuste de la visera del objetivo (⟶) ③.
• Si la visera del objetivo no está instalada correctamente, puede producirse efectos de viñeteado.
• Para facilitar la colocación o desmontaje de la visera ①, sujétela por la base (alrededor del índice de acoplamiento de la visera del objetivo ②) en lugar de por la parte extrema.
• Para guardar la visera del objetivo, instálela en la posición inversa ①.

■Desmontaje de la visera
Mientras sujeta la base de la visera ① (alrededor del índice de acoplamiento de la visera del objetivo ②) y no en su borde exterior, gire la visera en el sentido contrario al de las agujas del reloj para extraerla.

Enfoque, zoom y profundidad de campo
Antes de enfocar, haga girar el anillo del zoom ⑥ para cambiar la distancia focal hasta que la composición deseada quede encuadrada en el visor. Haga girar el anillo del zoom ⑥, en sentido de las agujas del reloj (mirando desde el lateral de la cámara) para hacer fotografías con teleobjetivo y en sentido contrario a las agujas del reloj para hacer fotografías con gran angular. Si la cámara dispone de una palanca o un botón de vista previa de profundidad de campo (cierre de iris), la profundidad de campo puede observarse mientras se mira a través del visor de la cámara. Para más detalles, consulte el manual de instrucciones de la cámara.
Debido a las características ópticas de este objetivo, según se enfoca más cerca con el objetivo, la distancia focal disminuye ligeramente.



Enfoque (Fig. A)
■Modo de enfoque automático: Ajuste el modo de enfoque de la cámara a AF-A, AF-S o AF-C, y ajuste el interruptor del modo A-M del objetivo ⑪ a [A]. El enfoque automático se obtiene mientras se oprime ligeramente el obturador.

Tenga cuidado de no tocar el anillo de enfoque ⑤ mientras el mismo esté girando durante la operación de enfoque automático.

■Modo de enfoque manual: Ajuste el interruptor de modo de enfoque A-M ⑪ del objetivo a [M]. Para enfocar, gire manualmente el anillo de enfoque ⑤. El fotografiado es posible cuando el modo de enfoque de la cámara está ajustado en AF o M.

Interruptor de modo A-M ⑪ del objetivo	Modo de enfoque de la cámara	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Enfoque automático	—
M	Enfoque manual (Ayuda de enfoque está disponible.)	

Para más detalles sobre el modo de en enfoque de la cámara, consulte el manual de i nstrucciones de la cámara.
• Enfoque manualmente cuando estos adaptador de objetivos estén acoplados.

Modo de reducción de vibración (VR)
Se puede realizar fotografías con velocidades de obturación de aproximadamente 3 pasos* más lento de lo que podría hacerlo sin usar un objetivo VR. También es posible realizar panorámicas. (*Bajo condiciones de medición de Nikon. Los efectos de la reducción de la vibración varían dependiendo de las condiciones individuales y de fotografiado.)

■Ajuste del interruptor de ON/OFF de reducción de vibración
1 Ajuste el interruptor de ON/OFF de reducción de vibración ⑫ a [ON].
Nota: Asegúrese de colocar el interruptor ⑫ de forma que el indicador quede perfectamente alineado con [ON].
2 La vibración se reduce en el momento en que se presiona ligeramente el disparador. Como se reduce la vibración en el visor, es más fácil de hacer el enfoque automático/manual y el encuadre exacto del objeto.
3 Para cancelar el modo de reducción de la vibración, ajuste el interruptor de ON/OFF de reducción de vibración ⑫ a [OFF].

■Notas sobre el uso del modo de reducción de la vibración
• Espere hasta que la imagen en el visor deje de vibrar antes de presionar a fondo el botón de liberación del obturador, habiendo presionado antes ligeramente dicho botón.
• Si mueve la cámara en un arco amplio como el de las panorámicas, la vibración en la dirección de dicho movimiento no se verá afectada. Por ejemplo, si mueve rápidamente la cámara en horizontal, únicamente se reducirá la vibración en la dirección vertical, haciendo que la panorámica sea mucho más suave.
• Debido a las características del mecanismo de reducción de la vibración, la imagen en el visor puede aparecer algo borrosa después de liberarse el obturador. Esto no es una avería.
• No desconecte el interruptor de la cámara a OFF ni extraiga el objetivo de la cámara mientras está funcionando el modo de reducción de la vibración. (En caso contrario, el objetivo puede emitir un ruido vibratorio si la cámara se mueve. Esto no es una avería. Conecte nuevamente el interruptor principal de la cámara para corregirlo.)
• Con las cámaras como los modelos de la serie D70 y D40, la reducción de vibración no funciona mientras el flash incorporado está en período de recarga.
• Cuando el objetivo se instala en un trípode, ajuste el interruptor de ON/OFF de reducción de vibración ⑫ en la posición [OFF]. Sin embargo, ajústelo en la posición [ON] si utiliza un trípode sin asegurar el cabezal del mismo, o cuando utilice un pie de cámara.
• Con las cámaras AF que tienen un botón de inicio de enfoque automático (AF-ON), como los modelos de la serie D2 y D200, la reducción de vibración no funciona incluso si se presiona el botón AF-ON.

Ajuste de abertura
Ajuste la abertura en la cámara.

Aberturas variables máximas
Al hacer zoom con el objetivo desde 55mm a 200mm, se reduce la abertura máxima en una f/punto. Sin embargo, no es necesario ajustar la abertura para corregir las exposiciones porque la cámara compensa automáticamente esta variación.

Fotografía con flash utilizando cámaras con un flash incorporado
El viñeteado es el oscurecimiento de las esquinas alrededor de la imagen que ocurre cuando la luz emitida por el flash es obstruida por la visera del objetivo, o el cilindro del objetivo, dependiendo de la distancia focal o de la distancia de disparo.
• Para evitar el viñeteado, no use la visera del objetivo ①.

Cámaras SLR digitales	Distancia focal / distancia de disparo utilizables
D200, D100, D80, serie D70, D50, D40	No ocurre viñeteado a ninguna distancia foca

Forma de cuidar el objetivo
• Tener cuidado de no manchar o dañar los contactos de la CPU ⑩. • Limpiar la superficie del objetivo con un cepillo soplador. Para eliminar la suciedad o las huellas, utilizar un trapo de algodón suave y limpio o papel especial para objetivos humedecido en etanol (alcohol) o limpiador de objetivos. Limpiar describiendo un movimiento circular del centro hacia fuera, teniendo cuidado de no dejar restos ni tocar otras partes. • No usar en ningún caso disolvente o benceno para limpiar el objetivo ya que podría dañarlo, provocar un incendio o causar problemas sanitarios. • Para proteger al objetivo frontal, está disponible un filtro NC. También una visera del objetivo ① contribuirá a proteger la parte frontal del objetivo. • Al guardar el objetivo en su bolsa flexible, coloque las tapas delantera y trasera de objetivo. El objetivo también puede guardarse cuando la visera del objetivo ① está acoplado en la posición inversa. • No sostenga por la visera del objetivo ① mientras el objetivo esté acoplado a la cámara. • Cuando no se vaya a utilizar el objetivo durante largo tiempo, guardarlo en un lugar fresco y seco para evitar la formación de moho. Guardar el objetivo, además, lejos de la luz solar directa o de productos químicos tales como alcanfor o naftalina. • No mojar el objetivo ni dejarlo caer al agua, ya que se oxidaría y no funcionaría bien. • Algunas partes del objetivo son de plástico reforzado. Para evitar daños, no dejarlo nunca en un lugar excesivamente caliente

Accesorios estándar
• Tapa frontal de presión a 52 mm LC-52 • Tapa trasera de objetivo LF-1
• Visera de bayoneta HB-37 • Bolsa de objetivo flexible CL-0918

Accesorios opcionales
• Filtros roscados de 52mm

Accesorios incompatibles
• Teleconvertidores (todos los modelos) • Anillo auto BR-4 y todos los modelos de anillo de autoextensión PK, anillo K, accesorio de enfoque de fuelle. • Anillo de fijación SX-1
Hay otros accesorios que pueden ser inadecuados para utilizar con este objetivo. Para más detalles, lea cualquiera de nuestros manuales de instrucciones de su accesorios.

Especificaciones
Tipo de objetivo:	Objetivo AF-S DX Zoom-Nikkor tipo G con CPU incorporada y montaje de bayoneta Nikon (Diseñado especialmente para utilizar con cámaras digitales SLR de Nikon – formato Nikon DX)
Distancia focal:	55 mm–200 mm
Abertura máxima:	f/4-5.6
Estructura del objetivo:	15 lentes en 11 grupos (1 lente ED)
Angulo de imagen:	28°50' – 8°
Escala de distancias focales:	55, 70, 85, 105, 135, 200 mm
Información de distancia:	Salida al cuerpo de la cámara
Zoom:	Manual mediante anillo de zoom independiente
Enfoque:	Sistema de enfoque interno de Nikon (IF) (con un motor Silent Wave interno); manual por anillo de enfoque independiente
Reducción de vibración:	Método de desplazamiento del objetivo utilizando motores de bobina de voz (VCM)
Distancia de enfoque más cercana:	1,1m (3,6 pies) en todos los ajustes del zoom
Diafragma:	Totalmente automático
No. de láminas del diafragma:	7 piezas (redondeadas)
Gama de aperturas:	f/4 a f/22 (a 55mm), f/5,6 a f/32 (a 200mm)
Medición de la exposición:	Por el método de plena abertura
Tamaño de accesorios:	52 mm (P = 0,75mm)
Dimensiones:	Diám. de aprox. 73 mm x 99,5 mm de alargue de la brida de la montura del objetivo de la cámara
Peso:	Aprox. 335 g (11,8 onzas)

Las especificaciones y los diseños están sujetos a cambio sin previo aviso ni obligación por parte del fabricante.

Italiano

Grazie per aver acquistato l'obiettivo AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED. Le lenti DX Nikkor sono appositamente progettate per essere utilizzate con le fotocamere reflex digitali Nikon (formato Nikon DX), quali le serie D2 e D40.
Se l'obiettivo è montato su una fotocamera Nikon formato DX, l'angolo dell'immagine è circa 1,5x della lunghezza focale rispetto al formato 35 mm. Prima di utilizzare l'obiettivo, leggere queste istruzioni e le note sulle operazioni di sicurezza.

Note sulle operazioni di sicurezza
⚠ ATTENZIONE

Non smontare
Toccando le parti interne della fotocamera o dell'obiettivo si potrebbero causare dei guasti. Le riparazioni devono essere eseguite solamente da tecnici qualificati. Qualora, in caso di caduta o di qualsiasi altro incidente, la fotocamera o l'obiettivo dovessero rompersi, portare il prodotto presso un punto assistenza Nikon autorizzato per l'ispezione, dopo averlo disinserito dalla presa e/o rimosso la batteria.

In caso di malfunzionamento, disattivare immediatamente la fotocamera.
Qualora dalla fotocamera o dall'obiettivo dovesse uscire del fumo o un odore insolito, rimuovere immediatamente la batteria, facendo attenzione a non ustionarsi. Continuando a utilizzare la fotocamera, sussiste il rischio di lesioni. Dopo aver rimosso o scollegato la fonte di alimentazione, portare l'apparecchio presso un punto assistenza Nikon autorizzato per l'ispezione.

Non usare la fotocamera o l'obiettivo in presenza di gas infiammabili
In caso contrario, si potrebbe verificare un'esplosione o un incendio.

Non guardare il sole in modo diretto attraverso l'obiettivo o il mirino
Guardando in modo diretto il sole o qualsiasi altra fonte intensa di luce, si è soggetti al rischio di indebolimento permanente della vista.

Tenere lontano dalla portata dei bambini
Fare molta attenzione che i bambini non ingeriscano le batterie o altre piccole parti.

Nell'utilizzo della fotocamera e dell'obiettivo, osservare le seguenti precauzioni
• Mantenere la fotocamera o l'obiettivo asciutti. In caso contrario, si potrebbe verificare un incendio o scosse elettriche.
• Non maneggiare né toccare l'unità con le mani bagnate. In caso contrario, si potrebbero verificare scosse elettriche.
• Se si prevede di non utilizzare l'obiettivo per un periodo prolungato, montare entrambi i tappi di protezione e riporlo lontano dalla luce diretta del sole. In caso contrario, potrebbe verificarsi un incendio, poiché la lente potrebbe indirizzare la luce del sole su un qualsiasi oggetto.

Caratteristiche principali
• È possibile acquisire immagini alla velocità di scatto circa 3 stop* più lenta rispetto al normale senza utilizzare alcun obiettivo VR, ampliando la gamma di velocità di scatto applicabili e semplificando la ripresa di telefoto mediante treppiede. (*in base alle condizioni di misurazione Nikon. Gli effetti della riduzione delle vibrazioni variano in base alle condizioni generali e di ripresa).
• Questo obiettivo utilizza un motore Silent Wave per azionare il meccanismo di messa a fuoco, pertanto la messa a fuoco automatica risulta agevole, silenziosa e quasi istantanea. Le modalità di messa a fuoco automatica (A) o manuale (M) possono essere facilmente selezionate attraverso l'interruttore modalità A-M ⑪.
• È possibile ottenere un controllo dell'esposizione più preciso, in quanto le informazioni relative alla distanza del soggetto sono trasferite dall'obiettivo alla macchina fotografica.
• L'utilizzo di uno elementi ED (dispersione extra-bassa) dell'obiettivo garantisce fotografie nitide, effettivamente prive di frangiatura. Inoltre, utilizzando un diaframma a 7 lame che produce un'apertura quasi circolare, le immagini non a fuoco davanti o dietro al soggetto vengono rese come piacevoli immagini sfocate.

Montaggio dell'obiettivo (Fare riferimento al manuale d'uso della fotocamera).
1 Disattivare la fotocamera.
2 Rimuovere il tappo posteriore dell'obiettivo (Fig.D).
3 Tenendo la tacca di montaggio ⑨ sull'obiettivo allineata con la tacca di montaggio sul corpo della fotocamera, ruotare l'obiettivo in senso antiorario finché scatti in posizione. Assicurarsi che la tacca di montaggio ⑨ sia sul lato superiore.
4 Rimuovere il coperchio anteriore dell'obiettivo. (Fig. C)

Smontaggio dell'obiettivo (Fare riferimento al manuale d'uso della fotocamera).
Prima di rimuovere l'obiettivo, disattivare la fotocamera. Premere e tenere premuto il pulsante di rilascio obiettivo ruotandolo in senso orario fino a rimuoverlo.

Utilizzo del paraluce a baionetta HB-37 ① (Fig. B)
■Collegamento del paraluce
Allineare l'indice di collegamento (▲) ② sul paraluce (uno dei due indici) all'indice di montaggio del paraluce ④ sull'obiettivo, quindi ruotare il paraluce ① in senso orario finché si blocchi in posizione.
• Verificare che l'indice di montaggio del paraluce 4 sia allineato all'indice di regolazione del paraluce (⟶) ③.
• In caso di paraluce non adeguatamente collegato potrebbe verificarsi una riduzione di luminosità ai margini dell'immagine.
• Per semplificare l'innesto o la rimozione del paraluce ①, afferrarlo dalla propria base (attorno all'indice di collegamento del paraluce ②) e non dai bordi esterni.
• Riporre il paraluce ① innestandolo in posizione invertita.

■Smontaggio del paraluce
Afferrando il paraluce ① dalla base (attorno all'indice di collegamento del paraluce ②) e non dal bordo esterno, ruotarlo in senso antiorario in modo tale da rimuoverlo.

Messa a fuoco, zoom e profondità di campo
Prima di mettere a fuoco, ruotare l'anello dello zoom ⑥ per modificare la lunghezza focale finché nel mirino sia contenuta la composizione desiderata. Per scattare fotografie con il teleobiettivo, ruotare l'anello dello zoom ⑥ in senso orario dal punto di vista del lato della fotocamera; ruotarlo in senso antiorario per scattare fotografie con il grandangolo. Se la vostra fotocamera è dotata di pulsante o leva per l'anteprima della profondità di campo (stop-down), è possibile osservare la profondità di campo guardando nel mirino della fotocamera. Per maggiori dettagli, fare riferimento al manuale d'istruzioni della fotocamera.
A causa delle caratteristiche ottiche di questo obiettivo, la lunghezza focale si riduce leggermente a distanze di messa a fuoco inferiori.

Messa a fuoco (Fig. A)
■Modalità di messa a fuoco automatica: Impostare la modalità di messa a fuoco della fotocamera su AF-A, AF-S o AF-C e l'interruttore modalità A-M ⑪ su [A]. La messa a fuoco automatica si attiva premendo leggermente il pulsante di rilascio dell'otturatore.

Fare attenzione a non toccare l'anello di messa a fuoco ⑤ mentre ruota durante l'operazione di messa a fuoco automatica.

■Modalità di messa a fuoco manuale: Impostare l'interruttore della modalità A-M ⑪ dell'obiettivo su [M]. Per mettere a fuoco, ruotare manualmente l'apposito anello ⑤. È possibile effettuare riprese fotografiche quando la modalità di messa a fuoco della fotocamera è impostata su AF o su M.

Interruttore modalità A-M ⑪ dell'obiettivo	Modalità di messa a fuoco della fotocamera	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Messa a fuoco automatica	—
M	Messa a fuoco manuale (disponibile un aiuto per la messa a fuoco)	

Per ulteriori dettagli sulla modalità di messa a fuoco della fotocamera, fare riferimento al manuale d'istruzioni della fotocamera.
• Con questo tipo di lenti addizionali, mettere a fuoco manualmente.

Modalità di riduzione delle vibrazioni (VR)
È possibile acquisire immagini alla velocità di scatto di circa 3 stop* più lenta rispetto al normale senza utilizzare alcun obiettivo VR. È inoltre possibile effettuare riprese panoramiche. (*in base alle condizioni di misurazione Nikon. Gli effetti della riduzione delle vibrazioni variano in base alle condizioni generali e di ripresa).

■Impostazione dell'interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni
1 Impostare l'interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni ⑫ su [ON].
Nota: impostare l'interruttore ⑫ in modo tale che l'indicatore sia allineato in modo preciso con il simbolo [ON].
2 Per ridurre le vibrazioni, premere leggermente il pulsante di scatto. Siccome le vibrazioni sono ridotte nel mirino, risultano semplificate sia la messa a fuoco automatica/manuale, sia l'esatta inquadratura del soggetto.
3 Per uscire dalla modalità di riduzione delle vibrazioni, impostare l'interruttore di ON/OFF delle riduzione delle vibrazioni ⑫ su [OFF].

■Note circa l'uso della modalità di riduzione delle vibrazioni
• Attendere finché l'immagine visualizzata nel mirino arresti le vibrazioni, premere leggermente il pulsante di scatto, quindi premerlo a fondo.
• Spostando la fotocamera ad ampio raggio come durante lésecuzione ad insequimento panning, la vibrazione nella direzione del movimento non sarà influenzata. Ad esempio, effettuando un panning con la fotocamera in orizzontale, si ridurrà solamente la vibrazione in senso verticale, semplificandone quindi l'acquisizione.
• Per le caratteristiche del meccanismo di riduzione delle vibrazioni, dopo aver rilasciato il pulsante di scatto, l'immagine nel mirino potrebbe apparire leggermente sfocata. Non si tratta di un malfunzionamento.
• Non spegnere la fotocamera né rimuovere l'obiettivo dalla fotocamera mentre è in funzione la modalità di riduzione della vibrazione. (In caso contrario, qualora la fotocamera vibri, l'obiettivo potrebbe emettere un rumore battente. Questo non è da vedere come malfunzionamento. Per rimediare a questo inconveniente, riaccendere (ON) la macchina fotografica.)
• Utilizzando fotocamere tipo la serie D70 e D40, la riduzione delle vibrazioni non sarà attiva durante il funzionamento del flash incorporato.
• Nel caso in cui l'obiettivo sia montato su un treppiede, impostare l'interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni ⑫ su [OFF]. Tuttavia, qualora si utilizzi un treppiede senza fissarne la parte superiore, o qualora si utilizzi un cavalletto monopiede, impostare l'interruttore su [ON].
• Con le fotocamere AF dotate di tasto di avvio AF (AF-ON), tipo la serie D2 e D200, la riduzione delle vibrazioni non sarà attiva anche dopo aver premuto il tasto AF-ON.

Impostazione dell'apertura
Impostare l'apertura indicata sul corpo della fotocamera.

Apertura massima variabile
Lo zoom dell'obiettivo da 55 mm a 200 mm comporta una diminuizione dell'apertura di un f/stop. Tuttavia, non è necessario regolare l'apertura per un'esposizione corretta poiché la fotocamera possiede un dispositivo di compensazione automatica.

Fotografie con flash usando fotocamere con flash incorporato
La vignettatura è la riduzione della luminosità ai margini dell'immagine che si verifica quando la luce emessa dal flash è ostacolata dal paraluce o dal barilotto, in base alla lunghezza focale o alla distanza di ripresa.
• Per evitare l'effetto vignettatura, non utilizzare il paraluce ①.

Reflex digitali	Lunghezza focale/distanza di scatto utilizzabili
D200, D100, D80, serie D70, D50, D40	Nessuna lunghezza focale causa l'effetto vignettatura

Cura e manutenzione dell'obiettivo
• Fate attenzione a non sporcare o danneggiare i contatti CPU ⑩. • Pulite la superficie delle lenti con un pennello a pompetta. Per rimuovere impronte e macchie, fate uso di un tazzoletto di cotone, soffice e pulito, o di una cartina ottica leggermente imbevuti con alcool o con l'apposito liquido "lens cleaner". Strofinate delicatamente con movimento circolare dal centro verso l'esterno, facendo attenzione a non lasciare tracce o toccare altre parti. • Per la pulizia non utilizzate mai solventi o benzina, che potrebbero danneggiare l'obiettivo, causare incendi o problemi di intossicazione. • Il filtro NC è utile per proteggere l'elemento anteriore dell'obiettivo. Anche il paraluce ① contribuisce validamente a proteggere la parte anteriore dell'obiettivo. • Prima di riporre l'obiettivo nella relativa custodia flessibile, montare entrambi i coperchi anteriore e posteriore. L'obiettivo può inoltre essere riposto con il paraluce ① montato al contrario. • Si consiglia di non reggere l'obiettivo dal paraluce ① quando l'obiettivo è installato sulla fotocamera. • Se rimane a lungo inutilizzato, riponetelo in un ambiente fresco e ventilato per prevenire la formazione di muffe. Tenetelo inoltre lontano dal sole o da agenti chimici come canfora o naftalina. • Non bagnatelo e fate attenzione che non cada in acqua. La formazione di ruggine potrebbe danneggiarlo in modo irreparabile. • Alcune parti della montatura sono realizzate in materiale plastico rinforzato. Per evitare danni non lasciate mai l'obiettivo in un luogo eccessivamente caldo.

Accessori in dotazione
• Tappo anteriore da 52mm dia. LC-52 • Tappo posteriore LF-1 • Paraluce a baionetta HB-37
• Portaobiettivo morbido CL-0918

Accessori opzionali
• Filtri a vite da 52 mm

Accessori non utilizzabili
• Teleconvertitori (tutti i modelli) • L'Anello Auto BR-4, tutti i modelli di Anelli di Prolunga Automatica PK, gli anelli K e i dispositivi di messa a fuoco a soffietto. • Supporto attacco obiettivo SX-1
Gli altri accessori possono non essere adatti per l'uso con questo obiettivo. Per ulteriori informazioni, leggere attentamente il manuale di istruzioni degli accessori.

Caratteristiche tecniche
Tipo di obiettivo:	Obiettivo AF-S DX Zoom-Nikkor tipo G con CPU incorporato e attacco a baionetta Nikon (appositamente progettato per essere utilizzato con le fotocamere reflex digitali – Nikon formato DX –)
Lunghezza focale:	55 mm–200 mm
Apertura massima:	f/4-5,6
Costruzione obiettivo:	15 elementi in 11 gruppi (1 elemento obiettivo ED)
Angolo di campo:	28°50' – 8°
Scala della lunghezza focale:	55, 70, 85, 105, 135, 200 mm
Dati distanze:	Uscita verso il corpo fotocamera
Zoom:	Manuale mediante anello dello zoom separato
Messa a fuoco:	Sistema di messa a fuoco interna (IF) Nikon (utilizza un motore interno Silent Wave); manuale mediante anello di messa a fuoco separato
Riduzione delle vibrazioni:	Metodo di decentramento lenti utilizzando i motori a bobina voice coil (VCMs)
Distanza focale minima:	1,1m in tutte le impostazioni di zoom
Nr. delle lamelle diaframma:	7 pz. (arrotondati)
Diaframma:	Completamente automatico
Gamma di apertura:	Da f/4 a f/22 (a 55 mm), da f/5,6 a f/32 (a 200 mm)
Misurazione dell'esposizione:	Attraverso il metodo di apertura massima
Misura dell'accessorio:	52 mm (P = 0,75mm)
Dimensioni:	Estensione di 73 mm x 99,5 mm dia., circa, dalla flangia di montaggio obiettivo della fotocamera
Peso:	Circa 335 g

Le specifiche e i disegni sono soggetti a modifica senza preavviso o obblighi da parte del produttore.

中国语

感谢您购买 AF-S DX VR 变焦尼克尔 55-200mm f/4-5.6G IF-ED 镜头。DX 尼克尔镜头是专为尼康数码单镜反光相机（尼康 DX 格式）、D2 系列和 D40 而设计的。安装在尼康 DX 格式相机时，相机镜头的画角相当于 35mm 胶片相机的 1.5 倍焦距。在使用本镜头前，请仔细阅读本说明书及安全操作注意事项。

安全操作注意事项
⚠警告

勿自行拆卸
触动相机或镜头的内部零件可能会导致受伤。修理只能由有资格的维修技师进行。如果由于掉落或其它事故导致相机或镜头拆散，在切断产品电源和（或）取出电池后，请将产品送至尼康授权的维修中心进行检查。

发生故障时立刻关闭电源
如果您发现相机或镜头冒烟或发出异味时，请立刻取出电池，注意避免燃烧。若继续使用可能导致受伤。请在取出电池或切断电源后，将器材送到尼康授权的维修中心进行检查维修。

勿在易燃气体环境中使用相机或镜头
如果在易燃气体环境中使用电子设备，可能会导致爆炸或火灾。

勿通过镜头或取景器观看太阳
通过镜头或取景器观看太阳或其它亮光，可能会导致永久性的视觉损伤。

请勿在儿童伸手可及之处保管本产品
请特别注意避免婴幼儿将电池或其它小部件放入口中。

使用相机和镜头时应注意以下事项
● 保持相机或镜头干燥，否则可能导致火灾或引起电击。
● 请勿使用湿手处置或接触设备，否则可能引起电击。
● 如果镜头要长期搁置不用，请盖上前镜头盖和后镜头盖，并在储存镜头时避免直接日照，否则可能导致火灾，因为镜头可能使日光聚焦于某一物体。

主要特点
● 与不带 VR 功能的镜头相比，可以相当于快门速度加快三档* 后的效果进行拍摄。扩大了快门速度的可用范围，使得在不使用三脚架时用不同的焦段进行摄影更加方便。
（* 于尼康测试环境条件下。减振效果视个体和拍摄环境不同而异。）
● 本镜头采用宁静波动马达驱动对焦装置，其自动对焦过程流畅、安静，几乎一瞬间就能完成。提供 A-M 模式开关①，可以方便地选择自动对焦（A）或手动对焦（M）操作。
● 还可以进行更精确的曝光控制，因为这时镜头会将主体距离的信息传送到相机镜。
● 采用一片 ED（超低色散）镜片单元可有效地消除彩色边缘镜保固像清晰。同时，又采用 7 叶片形成一个近乎圆形的光圈孔径，使主体前后焦点之外的景物形成舒心悦目的模糊影像。

安装镜头（请参照相机使用说明书）
1 关闭相机。
2 移除后镜盖（图 D）。
3 保持镜头上的安装标志 ⑨ 与相机机身上的安装记号对准，逆时针旋转镜头，直到听到“咔嗒”一声为止。确保安装标志 ⑨ 在最上边。
4 移除前镜盖（图 C）。

拆除镜头（请参照相机使用说明书）
移除镜头时，务必要关闭相机。按下并按住镜头释放按钮，顺时针旋转镜头直到拆卸下来为止。

使用卡口式镜头遮光罩 HB-37①（图 B）
■安装镜头遮光罩
将镜头遮光罩 ① 上的镜头遮光罩接头标志（ ▲ ）② （两个标志之一）对准镜头上的镜头遮光罩安装标志 ④，然后顺时针旋转镜头遮光罩 ①，直至听到咔嗒声转不动为止。
● 确认镜头遮光罩安装标志 ④ 对准镜头遮光罩设定标志（⟶）③。
● 若未正确安装镜头遮光罩 ①，会产生光晕。
● 为了便于装卸镜头遮光罩 ①，应抓住其底座（镜头遮光罩接头标志 ② 部分）而不是外缘。
● 存放镜头遮光罩 ① 时，要反方向装在相机上。

■拆除镜头遮光罩
按住镜头遮光罩 ① 的底部（靠近镜头遮光罩接头标志 ②）而不是它的外边缘，然后逆时针旋转，拆除镜头遮光罩 ①。

对焦、变焦与景深
对焦前先转动变焦环 ⑥ 以改变焦距，直至在取景窗框架内获得满意的构图。顺时针（从相机一侧看）转动变焦环 ⑥ 可进行远距离摄影，而逆时针转动可进行广角摄影。如果您的相机上有景深预览（定格）钮或拨杆，则可通过相机取景器观看景深。有关更多的详细信息，请参阅相机的使用说明手册。由于本镜头是光学字符读出，近距离对焦时，焦距可稍微缩短。

对焦（图 A）
■ 自动对焦模式：将相机的对焦模式设定为 AF-A、AF-S 或 AF-C，并将镜头的 A-M 模式开关 ⑪ 设定为[A]。在轻按快门释放钮后即提供自动对焦。

在自动对焦操作期间对焦环转动时，小心不要触及对焦环 ⑤。

■ 手动对焦模式：将镜头的 A-M 模式开关 ⑪ 设定为[M]。手动旋转对焦环 ⑤ 以进行对焦。当相机的对焦模式设定为 AF 或 M 时，可以进行拍摄。

镜头的A-M模式开关⑪	相机的对焦模式	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	自动对焦	—
M	手控对焦（有辅